



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月4日

上場会社名 名鉄運輸株式会社 上場取引所 名
 コード番号 9077 URL http://www.meitetsuunyu.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)内田 互
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)宮武 積 (TEL)052(935)5721
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	84,028	△5.9	2,908	△31.0	3,014	△30.6	2,185	△20.7
2020年3月期第3四半期	89,335	1.2	4,214	△5.6	4,344	△4.8	2,754	△5.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,234百万円 (△26.8%) 2020年3月期第3四半期 3,051百万円 (3.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	337.20	—
2020年3月期第3四半期	424.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	105,648	39,922	36.5
2020年3月期	99,167	38,018	37.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 38,610百万円 2020年3月期 36,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	△5.2	2,800	△40.7	2,800	△42.3	2,000	△34.4	308.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	6,509,301株	2020年3月期	6,509,301株
2021年3月期3Q	26,636株	2020年3月期	26,430株
2021年3月期3Q	6,482,756株	2020年3月期3Q	6,483,050株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ景気の浮揚策であるGO TOキャンペーンなどの経済政策や、企業の生産、出荷量が上向いてきたことなどにより徐々に回復基調となりましたが、感染再拡大の影響で、各種施策の停止や自粛要請が打ち出されるなど、依然として景気回復の見通しはたまた、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

物流業界におきましては、外出自粛に伴う通販関係の個人向け配送の増加に加え、企業間輸送についても生産拡大や国内消費の高まりにより、徐々に国内貨物取扱量も回復基調となりましたが、コロナ禍以前の水準に戻るまでには至りませんでした。

このような状況の中、当社グループは物流というライフラインを守るため、感染予防対策を講じることで、お客様、従業員及びそのご家族のほか、当社に関係される全ての皆さまの健康と安全を最優先に通常業務を継続し、お客様からの輸送需要に応じてまいりましたが、4月から5月にかけての緊急事態宣言時の大幅な貨物取扱量の減少を補うまでには至らず、前年同期を下回る結果となりました。営業面では、新型コロナウイルス感染症の影響をふまえ、ウェブを利用した営業活動を併用しながら、新規顧客の開拓だけでなく、既存顧客に対しても積極的な営業活動を行うことによって、貨物取扱量の確保に注力いたしました。また、9月にオープンした「名鉄トラックターミナル関西」では、関西地区におけるさまざまな輸送ニーズに応える複合拠点としての利点を生かしながらグループ一体で営業拡大に努めました。業務面では、輸送量に見合った戦力の適正化を目的に、人員、車両配置の見直しに努めました。また、日本通運株式会社との連携においては、共同配送や共同運行などの拡大を継続して行っております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は前年同期比5.9%減の84,028百万円となりました。また、営業利益は同31.0%減の2,908百万円、経常利益は同30.6%減の3,014百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については、同20.7%減の2,185百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ6,481百万円増加して105,648百万円となりました。流動資産は同4,688百万円増加して23,470百万円、固定資産は同1,792百万円増加して82,178百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が3,211百万円増加したことなどであり、固定資産増加の主な要因は、有形固定資産が2,638百万円増加したことなどであり、

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,577百万円増加して65,725百万円となりました。流動負債は同3,299百万円増加して34,066百万円、固定負債は同1,277百万円増加して31,659百万円となりました。

リース債務を含む有利子負債は、前連結会計年度末に比べ5,005百万円増加して33,138百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,904百万円増加して39,922百万円となりました。これは、主として利益剰余金が1,861百万円増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の37.1%から36.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の再発出の影響等、不確実性が高まっているため、営業利益を28億円（前期比40.7%減）、経常利益を28億円（前期比42.3%減）とし、親会社株主に帰属する当期純利益については、第3四半期連結会計期間中に当社が保有する政策保有株式を売却したことに伴い20億円（前期比34.4%減）と前回公表時（2020年8月5日）よりそれぞれ見直いたします。

業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	214	3,426
受取手形及び営業未収入金	16,009	16,544
電子記録債権	1,290	1,440
商品及び製品	5	5
仕掛品	19	2
貯蔵品	199	216
その他	1,052	1,841
貸倒引当金	△9	△6
流動資産合計	18,782	23,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,316	42,694
減価償却累計額	△26,651	△27,368
建物及び構築物(純額)	11,665	15,326
機械装置及び運搬具	42,487	44,193
減価償却累計額	△24,006	△24,869
機械装置及び運搬具(純額)	18,481	19,324
土地	38,263	37,454
リース資産	928	953
減価償却累計額	△753	△809
リース資産(純額)	174	144
建設仮勘定	1,666	766
その他	3,247	3,369
減価償却累計額	△2,478	△2,727
その他(純額)	768	642
有形固定資産合計	71,018	73,657
無形固定資産		
ソフトウェア	754	542
その他	364	356
無形固定資産合計	1,119	898
投資その他の資産		
投資有価証券	2,214	1,972
長期貸付金	71	65
繰延税金資産	3,290	3,070
その他	2,734	2,569
貸倒引当金	△65	△55
投資その他の資産合計	8,246	7,621
固定資産合計	80,385	82,178
資産合計	99,167	105,648

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	6,769	6,948
電子記録債務	3,700	3,679
短期借入金	8,448	12,464
1年内返済予定の長期借入金	1,697	1,597
リース債務	82	57
未払法人税等	1,144	321
賞与引当金	568	65
整理損失引当金	205	104
その他	8,149	8,828
流動負債合計	30,766	34,066
固定負債		
長期借入金	17,834	18,970
リース債務	69	48
繰延税金負債	257	277
役員退職慰労引当金	220	179
退職給付に係る負債	8,905	9,036
資産除去債務	710	750
再評価に係る繰延税金負債	2,034	2,034
その他	348	359
固定負債合計	30,382	31,659
負債合計	61,148	65,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,065	2,065
資本剰余金	6,034	6,034
利益剰余金	25,351	27,213
自己株式	△30	△31
株主資本合計	33,421	35,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	641	509
土地再評価差額金	3,230	3,230
退職給付に係る調整累計額	△495	△411
その他の包括利益累計額合計	3,376	3,327
非支配株主持分	1,221	1,312
純資産合計	38,018	39,922
負債純資産合計	99,167	105,648

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	89,335	84,028
売上原価	80,967	77,181
売上総利益	8,368	6,847
販売費及び一般管理費		
人件費	2,269	2,310
施設使用料	375	384
その他	1,508	1,243
販売費及び一般管理費合計	4,154	3,938
営業利益	4,214	2,908
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	66	62
持分法による投資利益	12	8
受取手数料	33	31
その他	93	99
営業外収益合計	207	202
営業外費用		
支払利息	66	77
その他	11	19
営業外費用合計	78	96
経常利益	4,344	3,014
特別利益		
固定資産売却益	136	253
投資有価証券売却益	—	468
その他	19	3
特別利益合計	156	726
特別損失		
固定資産処分損	37	33
その他	3	0
特別損失合計	40	33
税金等調整前四半期純利益	4,459	3,707
法人税、住民税及び事業税	1,477	1,175
法人税等調整額	135	254
法人税等合計	1,612	1,430
四半期純利益	2,846	2,276
非支配株主に帰属する四半期純利益	92	90
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,754	2,185

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,846	2,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123	△127
繰延ヘッジ損益	△1	—
退職給付に係る調整額	82	85
その他の包括利益合計	204	△41
四半期包括利益	3,051	2,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,956	2,137
非支配株主に係る四半期包括利益	95	96

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループの業績に与える影響については、4月から5月にかけての緊急事態宣言時には、貨物取扱量が大幅に減少し収益性の低下が発生したものの、第2四半期連結累計期間中にその影響は収束し、下期の当社グループの業績は一定の回復が見込まれるという前提で、固定資産の減損における将来キャッシュ・フローや繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。